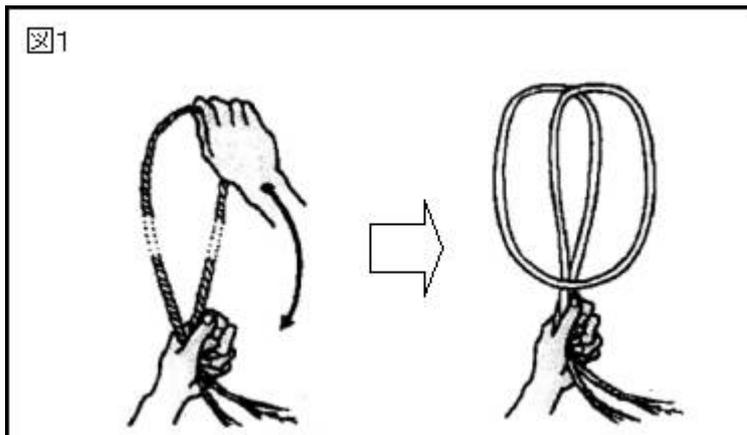


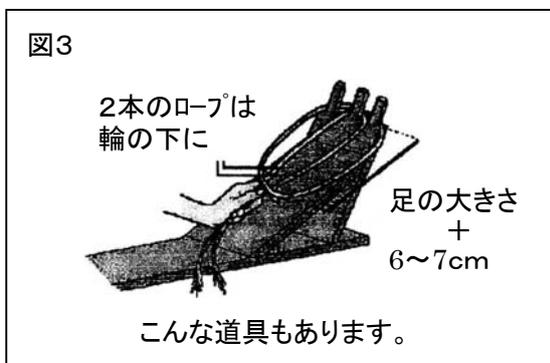
【注意】図は「わら」を使用する場合ですが、「布ひも」でも同じです。「布ひも」を使用する場合は、途中で縫ってつなげて使用してください。また、「わら」を使用される場合は、「布ひも」を「わら」に読み替えて実施することができます。

草履作り

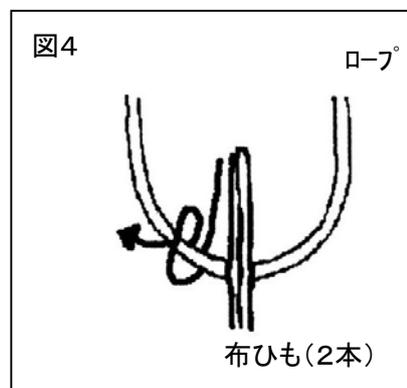
1. 2尋分のビニールロープのうち、約1尋（片足分）を使います。ロープは切らずに使います。片足分を作り終わったら、残った約1尋でもう片足分を作ります。
約1尋分のロープを半分に折って、手元のロープの上に輪が来るように、中央を手元に持ってきます。これが芯ロープとなります。（図1）



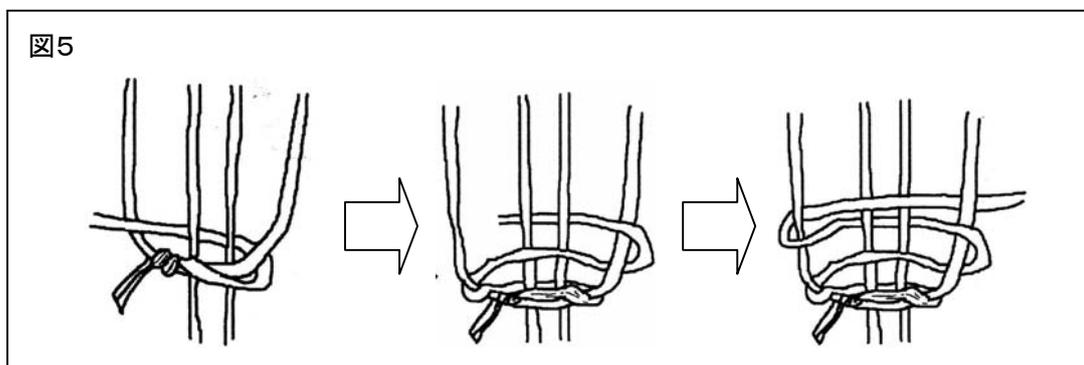
2. これを、そのままの形で、向こう側のロープの輪を足に掛けます。（図2）
足の代わりに道具もあります。（図3）



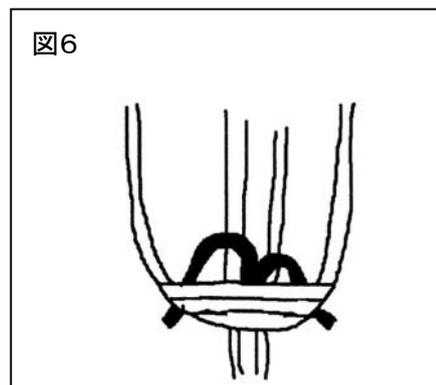
3. 布ひもを2本取り、根元から約15cmのところを、根元を向こうに向けて、ロープの輪の一番手前の部分に上からあて、根元をロープに2回巻きつけます。余りは外側に出しておきます。（図4）
ここがつま先部分になります。



4. ロープとロープの間の3つの隙間に指を入れて間隔を保ちながら手前に引き、手前側の布ひもを図のように編み込みます。布ひもを編み込むたびに指を入れ替えて、布ひもを手前に引いて締めます。(図5)

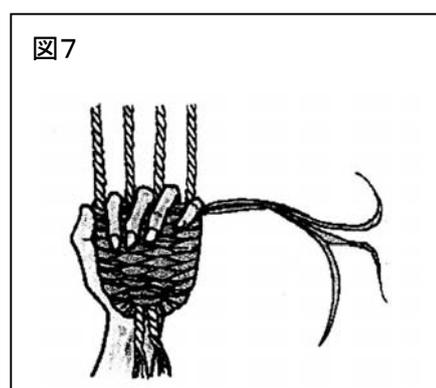


5. 図5まで編み込んだら、手順3で外側に出しておいた布ひもの根元部分を下から中央に出し、2つに分けて左右のロープの下に通します。(図6)



6. このあとは、ロープ2本を一緒にまたがせたところもロープ1本ずつ交互に通して編んでいきます。このとき、中心の隙間では、必ず布ひもが裏から表に向かって通ることになります。

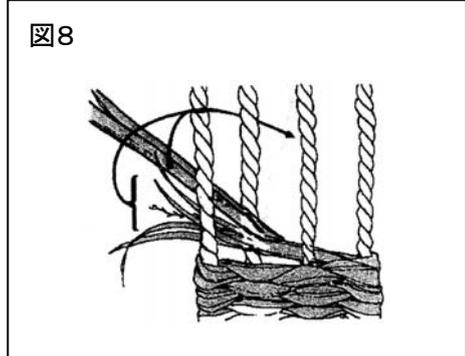
草履の幅が狭くならないように、1段編むたびに3カ所の隙間に指を入れて、布ひもを手前に引いて締めるようにしながら編み続けます。(図7)



7. 布ひもが短くなったら、別の布ひもと粗く並縫いしてつなぎ、そのまま編み続けます。(図8)

縫ったところは外に出ないように中に織り込みます。

布ひもではなくわらを使う場合は、わらが短くなったら、新しいわらを足します。前のわらの残りに新しいわらを加えて一緒にしてそのまま編みます。新しいわらを足す位置は、常に中心の隙間になります。足すわらの束はなるべく太さが変わらないようにします。中心の隙間では、必ずわらが裏から表に向かって通ることになりますので、新しいわらの根元は、草履の裏側に5cmほど飛び出しますが、そのままにしておきます。この飛び出した部分は実際に草履を履いていると次第に擦り切れていきますが、草履を長持ちさせる役割をします。



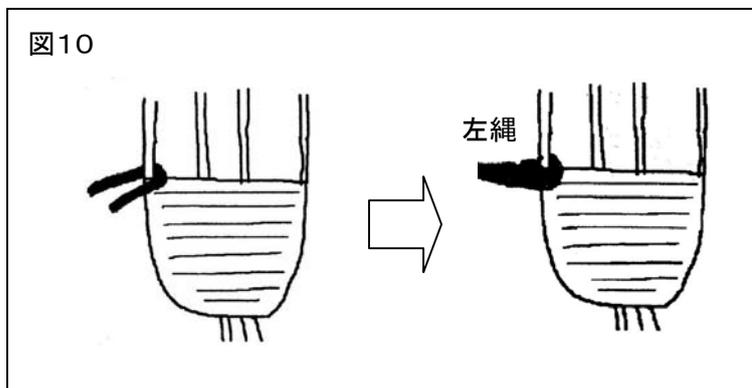
8. 足に当ててみて、土踏まずのあたりまで編めたら、鼻緒をつけます。編み込んでいる布ひもは切らずにそのままにしておき、鼻緒をつけ終わってから続けて編み込みます。

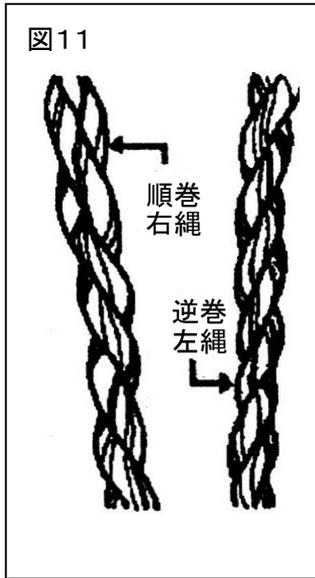
布ひも2本をあわせませす。(図9) 鼻緒にした余りが10cm程度取れる長さが適当です。鼻緒にもっと太さを持たせたいときは、PPロープ(3つ編みになっている)をほどいたものを1本ずつ布ひもに巻き込んで鼻緒にしてもよいでしょう。



布ひもではなくわらを使う場合は長めのわら2,3本ずつを逆向きにしてあわせませす。

9. 手順8であわせた布ひもを外側の芯ロープにかけ、これで左縄を編みます。(図10)



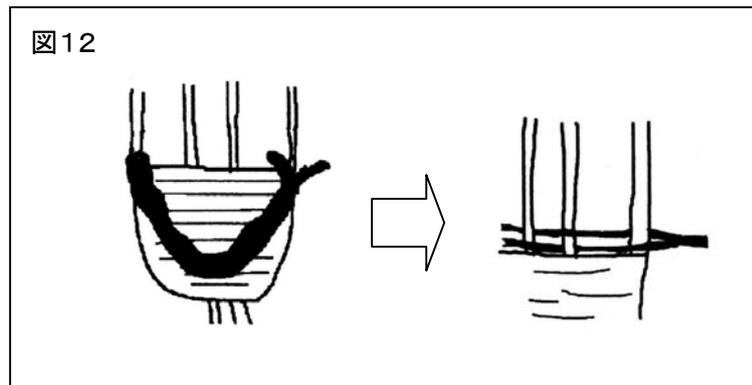


【左縄】 左縄は、右縄とは、撚りの向きが逆になっています。

(図11)

図をよく見て、両方の束を逆にひねりながらあわせませす。

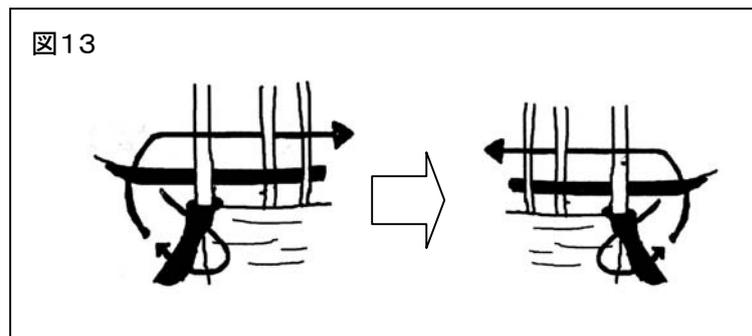
10. 足に合わせてみて、必要な長さまで編めたら、先を2つに分けて編み込んでいきます。(図12)



11. 手順8で編み込みを止めていた布ひもを編み込みます。鼻緒につけたところでは、鼻緒に内側から外側へ（鼻緒の向こう側を先に回り込むように）一度巻きつけてから反対側まで編みます。

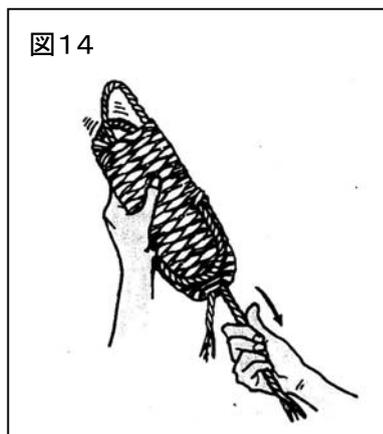
反対側でも同じように、一度巻きつけます。(図13)

そのあとは、手順7と同様に編み続けます。



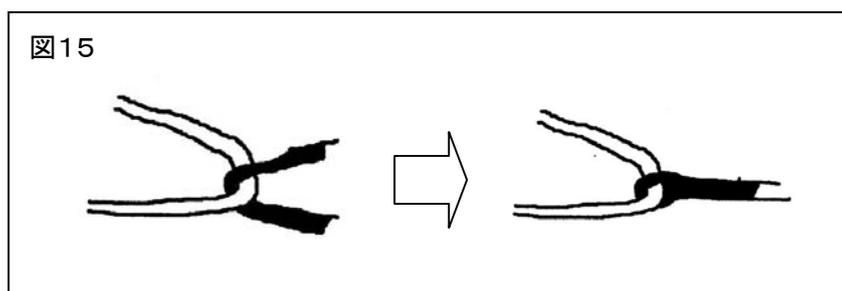
- 1 2. 自分の足に合わせるなどして、適当な長さまで編めたら、仕上げにかかります。布ひもは最後まで編み込んでおきます。かかとになる部分ですので丸くなるように形を整えます。

ロープを足からはずして、手元の2本のロープを少しずつ交互に引いて締めます。この際、ロープが切れないように注意して引いてください。(図14)



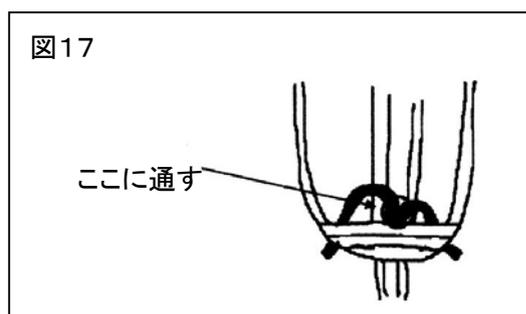
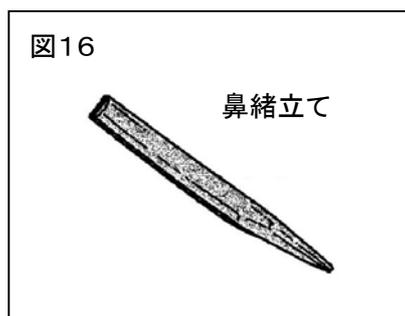
- 1 3. 前鼻緒をつけます。手順8、9と同様に、2本の布ひもを鼻緒にかけ、左縄を綯います。(図15)

布ひもでなくわらを使う場合は2、3本ずつのわらを逆向きにあわせます。



- 1 4. 鼻緒立てを使って、前鼻緒を草履に通します。(図16) 鼻緒立てがない場合は、鉛筆などで、通す位置に大きめの穴を開けて、前鼻緒を差し込みます。

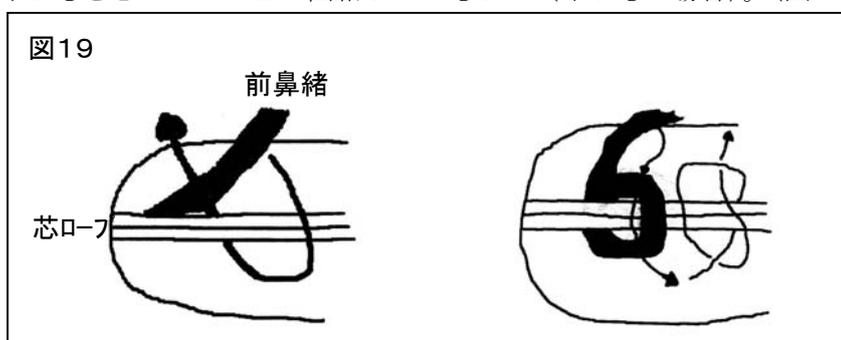
通す位置は、手順5で2つに分けた布ひもの間です。(図17)



15. 手前に引いていた2本の芯ロープを草履の裏側に折り返します。(図18)

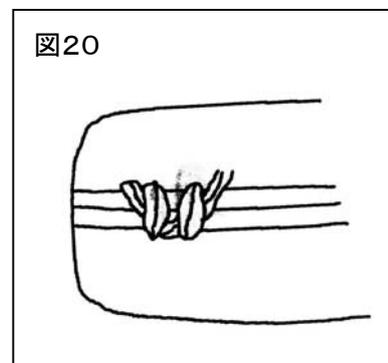


16. 芯ロープに前鼻緒を結びます。芯ロープの周りを巻くように2回結びます。前鼻緒の上の2本の布ひもを芯ロープの上で固結びしてもよい(布ひもの場合)。(図19)



17. 前鼻緒をしっかり締め、少し余裕を持って芯ロープを切ったら完成です。(図20)

前鼻緒の結び目部分は厚くなりますが、使っていると薄くなります。また、使っているうちに取れることもあります。つけ直すことができます。



18. 片方できました。おめでとうございます。同じ手順を繰り返してもう片方作ったら一足完成です。